

# 南方熊楠と熊野

入場無料

400名

(事前申込制)

「南方熊楠を通じてこれからの熊野をどのように捉えるのか」「これからの熊野が果たしていく役割」といった視点で、「熊野」の持つ自然や文化の魅力、神秘性、精神性について、改めて、見つめ直します。

2024

日時 **12月15日** [SUN] (開場 13:30) 14:00~16:30

会場 **明治大学駿河台キャンパス**  
リバティホール (リバティタワー内)

## 基調講演

### 熊野にわけいった熊楠

〈講師〉

中沢 新一 氏

第26回南方熊楠賞受賞者 / 思想家・人類学者



## パネルディスカッション

### 熊楠の見た熊野、そして、これからの熊野

〈パネリスト〉

中沢 新一 氏

島田 雅彦 氏

法政大学教授 / 小説家

高森 玲子 氏

紀行作家 / 熊野古道女子部ファウンダー

真砂 充敏 氏

田辺市長 / 南方熊楠顕彰会会長

〈コーディネーター〉

志村 真幸 氏

慶應義塾大学准教授 / 南方熊楠顕彰会理事



## 申込方法

専用フォームでのお申込み



左の二次元コードからお申込みください。

[https://amarys-jtb.jp/minakata\\_tanabe/](https://amarys-jtb.jp/minakata_tanabe/)

お電話でのお申込み

田辺市観光振興課  
TEL 0739-26-9929  
(平日8時30分~17時15分)

※申込多数の場合は抽選となります。  
※抽選結果は12月5日(木)までに通知いたします。

【申込期間】 2024年10月22日(火)~11月22日(金)

# 南方熊楠と熊野

「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録20周年記念

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」。山岳修験の「吉野・大峯」、真言密教の「高野山」、そして、自然崇拜の「熊野三山」という3つの霊場とそれらを結ぶ参詣道及び文化的景観で構成されており、紀伊半島という狭いエリアの中で、起源も内容も異なる3つの霊場と参詣道でつながり、互いに影響しあって共存していることは、世界的にも稀有で、その景観や精神性が評価され、2004年に世界遺産に登録された。なかでも熊野は、性別や身分、浄不浄、信不信をも問わず何人も受け入れたとされ、その寛容性を物語る数々の伝説が残されている。

また、南方熊楠(1867-1941)は、明治末期から大正初期にかけて、政府の神社合祀令より熊野の森や神社林を守ろうと孤軍奮闘したことは、広く知られている。熊楠は、当時自然生態系を解明する新たな学問であった「エコロジー」を用い、また、古来より受け継がれてきた地域の神社はそのコミュニティの精神的土壌であり、地域の民俗や伝統、文化の核であると、その重要性を訴え、熊野の「生態系」、神社と社叢を守ることに、その全エネルギーを傾注した。

現在、我々が目にする、世界文化遺産「熊野古道」やその文化的景観を成す熊野の森や神社と社叢は、熊楠により守られたものは少なくない。

今回は、「熊楠を通じてこれからの熊野をどのように捉えるのか」「これからの熊野が果たしていく役割」といった視点で、基調講演、トークフォーラムを開催し、「熊野」の持つ自然や文化の魅力やその神秘性、精神性について、改めて、多くの皆さんと共有を図りたい。



## 中沢新一 (第26回南方熊楠賞受賞者 / 思想家・人類学者)

1950年山梨県生まれ。人類の思考全般を視野に入れた知のあり方を提唱。人類学のみならず、歴史、哲学、民俗学、経済学、自然科学の分野にまたがる広汎な研究に従事する。中央大学教授、多摩美術大学芸術人類学研究所所長、明治大学野生の科学研究所所長などを歴任。現在は京都大学人と社会の未来研究院特任教授。著書に『森のパラドクス』『カイエ・ソバージュ』『精霊の王』『アースダイバー』『熊楠の星の時間』『レンマ学』など多数。



## 島田雅彦 (法政大学教授 / 小説家)

1961年東京都生まれ。1984年東京外国語大学ロシア語学科卒。在学中の1983年『優しいサヨクのための嬉遊曲』でデビュー。主な作品に『夢使い』、『彼岸先生』(泉鏡花賞)、『自由死刑』、『退廃姉妹』(伊藤整文学賞)、『悪貨』、『虚人の星』(毎日出版文化賞)、『君が異端だった頃』(読売文学賞)、『パンとサーカス』ほか多数。芥川賞選考委員。法政大学国際文化学部教授



## 高森玲子 (紀行作家 / 熊野古道女子部ファウンダー)

1969年富山県生まれ。東京大学教養学部国際関係論分科卒業後、出版社に勤務し、占いや精神世界ジャンルのヒット作を多数手がける。また、聖地への旅をテーマに世界各地取材。現在は、東京と熊野を行き来しながら、執筆や講演、旅のプロデュースを行う。著書に『スペイン サンティアゴ巡礼の道 新装版』、『熊野古道巡礼の旅よみがえりの聖地へ!』など。2017年に「熊野古道女子部」を設立。



## 志村真幸 (慶應義塾大学准教授 / 南方熊楠顕彰会理事)

1977年神奈川県生まれ。慶應義塾大学准教授、南方熊楠顕彰会理事。博士(人間・環境学)。専門は、南方熊楠研究。主な著書に、『南方熊楠のロンドンー国際学術雑誌と近代科学の進歩』(慶應義塾大学出版会、2020年、サントリー学芸賞)、『未完の天才 南方熊楠』(講談社現代新書、2023年)、『南方熊楠の生物曼荼羅』(編著、三弥井書店、2024年)、『在野と独学の近代』(中公新書、2024年)など。



## 真砂充敏 (田辺市長 / 南方熊楠顕彰会会長)

1957年和歌山県生まれ。和歌山県中辺路町議会議員を経て1996年7月、中辺路町長に就任。2005年5月、新制田辺市(旧制田辺市・龍神村・中辺路町・大塔村・本宮町の合併により発足)の初代市長に就任、現在5期目。世界遺産の巡礼道である熊野古道とサンティアゴ・デ・コンポステーラとの共通巡礼等、熊野の精神性を大切に交流の仕組みづくりや、「1000年をつなぐ田辺市熊野SDGsプロジェクト」など次世代に繋ぐ事業を展開している。



田辺観光協会   
<https://www.tanabe-kanko.jp>



南方熊楠顕彰館   
MINAKATA KUMAGUSU ARCHIVES  
<https://www.minakata.org>



## ACCESS



## 明治大学駿河台キャンパス リバティホール(リバティタワー内)

東京都千代田区神田駿河台 1-1



- 御茶ノ水駅(JR中央線・総武線) 徒歩約3分
- 御茶ノ水駅(東京メトロ丸ノ内線) 徒歩約3分
- 新御茶ノ水駅(東京メトロ千代田線) 徒歩約5分
- 神保町駅(都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線) 徒歩約5分